

令和5年7月28日		
所 属	尼崎双星高等学校	高校教育課
担当者	櫻木 嘉典	石川 一
電 話	06-6491-7000	06-4950-4710

夏休みに宇宙技術を体験 「尼崎ロケットキャンプ」を実施します

尼崎市立尼崎双星高等学校と尼崎市は、8月8日に本校でロケットに関する基礎知識を学んだ後にオリジナルモデルロケットの製作を行い、9日に打ち上げ実験を行う小・中学生向けイベント「尼崎ロケットキャンプ」を実施します。

本校では、主に課外活動（宇宙科学研究会の活動）の一環で、電気情報科やものづくり機械科、普通科などの生徒が缶サット（小型の模擬人工衛星）の製作・研究を行っており、そのノウハウを活用する取り組みとして本イベントを企画しました。

本イベントを通じ、本校が持つ缶サット製作のノウハウや情熱を学校内だけにとどめず、地域や小・中学校へ広げていくとともに、地域に開かれた学校づくりを目指します。



R4 年度打ち上げの様子

R4年度飛行高度の記録(参考)

1位	130.5m
2位	120.1m
3位	116.3m

1 イベント概要

- (1) 日程
令和5年8月8日（火）・9日（水）の2日間（9日が雨天のときは10日（木））
いずれも午前9時～午後4時
- (2) 対象・定員
小学4・5・6年生及び中学生（市立小・中学校に在籍する児童・生徒）、20人
- (3) 場所
1日目 尼崎市立尼崎双星高等学校（尼崎市口田中2丁目8-1）
2日目 尼崎市船出（フェニックス事業用地東海岸町沖・尼崎のびのび公園東側）
- (4) 実施内容
1日目 ロケットに関する講義（基礎知識など）及びモデルロケットの製作
2日目 製作したモデルロケットの打上げ実験を兼ねた打ち上げ大会

2 缶サット製作・研究に取り組む意義

缶サットの製作・研究に取り組むことは、文部科学省が推進するSTEAM教育や課題解決型学習の実践につながり、教科横断的に課題を発見・解決し、社会的価値を創造する能力を育むことができます。また、缶サットの開発は、仲間と製作目標（ミッション）を設定し、設計から製作、打ち上げ実験、結果の分析や解析を通して再度取り組む内容を見直していきます。この開発過程をPDCAサイクルで実践することで、論理的な問題解決能力やマネジメント力、チームワーク力などを育成していきます。

3 他校と連携した取り組み

昨年度から学校間連携として缶サットの共同打ち上げ実験や成果発表会を実施しています。今年度は、本校と彩星工科高等学校、兵庫県立芦屋国際中等学校の3校で連携しています。7月29日（土）には、尼崎市船出（フェニックス事業用地東海岸町沖）にて今年度1回目となる打ち上げ実験を予定しています。

4 缶サット甲子園 2023 全国大会出場

令和5年7月15日・16日に開催された缶サット甲子園 2023 和歌山地方大会で優勝し、令和6年2月10日～12日(予定)にかけて鹿児島県で行われる缶サット甲子園 2023 全国大会に出場します。

【缶サット甲子園 2023 和歌山地方大会結果】

優勝：尼崎市立尼崎双星高等学校

準優勝：甲陽学院高等学校

3 位：兵庫県立芦屋国際中等教育学校

4 位：和歌山県立桐蔭高等学校

以 上